

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立伊予高等学校 (その1)

学校番号 29

評価実施日	令和5年2月17日(木)		
委員	氏名	所属等	備考

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>(1) 学習指導</p> <p>「分かる授業の実践」「学校の向上」「家庭学習時間」といった、学習面に関する項目の評価が低いのが気になる。学力向上に向けて更なる努力をお願いしたい。</p> <p>「分かる授業」の評価と比べ「学力の向上」の評価が低く、授業内容は分かっているが学力につながっていないという結果だ。学力の向上に向けた工夫や「自分でものを解決する力=本当の学力」を身に付けさせる指導をお願いしたい。</p>	<p>進路希望や興味・関心に基づいた科目選択を行うことで、授業に対して意欲的に取り組み、授業内容を理解している生徒が多数を占めている。来年度、習熟度別クラス編成を実施し、生徒の実態に応じた授業内容や課題の提示が可能となる。これまで以上に、個別最適な学習の実践を行い、家庭学習時間の確保、学力の向上につなげたい。</p> <p>総合的な探究の時間(週2時間)の中で、自らの力で未来を切り拓くため、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けたり、収集した情報を基に分析したりする力の育成などを行う。探究の時間を通して得た見方・考え方を各教科・科目の特性に応じて取り入れ、課題解決能力や情報活用能力の向上を図っていききたい。</p>
<p>(2) 生活指導</p> <p>規範意識の向上、身だしなみ指導等の評価が高く、指導の充実ぶりがうかがえる。伊予高校の素晴らしい校風だと思う。</p>	<p>今年度、生徒代表を交えて校則検討委員会を開催し、次年度から「アームカバーの着用を認める」「女子の髪型で『お団子』『ハーフアップ』を認める」「毎月1回の身だしなみ指導を40日に1回へ変更する」「女子制服のストラップを採用する」ことを決定した。校則検討委員会を実施し、生徒たちは校則という最も身近なルールについて深く考え、合理的な手続きを経て校則を変えることができることを経験した。次年度は、本校の校則を保護者やPTA、地域の方々に積極的に周知する。その中で多く意見を伺い、校則見直しの参考としたい。</p>
<p>(3) 特別活動</p> <p>松前町のイベントで伊予高校の生徒の協力を得るなど地域の人に伊予高校の活動の様子を知ってもらえる機会が増えた一年であった。文化祭では参加したお客さんからの評価も高かった。今後とも、やりがいのある、意義のある連携について考えていきたい。</p> <p>休日のグラウンドを見ると、活動している生徒の少なさに寂しさを感じる。生徒数が増え、活動が活性化することを期待したい。</p> <p>地元の中学校として、様々な面(合同演奏会や文化祭、探究活動等)で連携を図っていききたい。</p>	<p>学校行事は本校の大きな魅力の一つである。まだコロナ禍の影響で活動制限は残るが、感動・充実、主体性・連帯感等を経験させ、大きな成長が期待できる機会となるよう引き続き充実させたい。原則週休二日で実施している部活動についても、限られた時間の中で指導方法の工夫・研究を行い、生徒の多様な学びの場になるようにしていきたい。</p>

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立伊予高等学校（その2）

学校番号 29

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>(4) 進路指導 大学進学だけでなく、多様な進路希望に応じた指導を充実させてほしい。AO入試の出願時期など柔軟な対応をお願いしたい。</p> <p>地元の中中学生を松山市内に流出させないような進路実績を出してほしい。</p>	<p>現在、就職・専門学校・大学など生徒の多様な進路希望に対応できるよう様々な講座や補習を実施することで、各自の進路実現を目指している。今後も生徒の進路希望と照らし合わせながら適切な情報提供・学習指導を行い、よりよい進路実現ができる学校となるよう尽力したい。</p> <p>専門学校に関しては、早い時期に出願しておかなければならない分野の学校志望者以外には、じっくり進路を検討する時間を取らせるとともに、できるだけ学力を向上させる期間を設けるために2学期以降の出願を勧めている。また、2学期になってから大学受験に進路変更したり、決定後に他の学校に変更したいと申し出る生徒が毎年数名いるため、今後も出願の時期を見極め、よりよい進路実現のために生徒一人一人と向き合って進路指導を行っていききたい。</p>
<p>(5) 人権教育 人権委員会の更なる飛躍、発信に期待したい。</p>	<p>人権デーや人権委員会の発表（文化祭・全校集会）など、生徒の取組や成果は学校ホームページ等を等して積極的に発信していききたい。</p>
<p>(6) 読書指導 静かに本を読む時間を確保しているのは、とても良いことだと思う。</p>	<p>朝の読書の時間では、8時25分を待たずに始めている生徒が見られ、他のことをしていても時間が来ればしっかりと切り替えて読書をする習慣づけができてきているように思う。原則ではどんな本を読んでも良いとなっているが、今後は高校生として読むべき書籍を読む機会を検討したいと思う。</p>
<p>(7) 学校経営 松前町からの進学者を増やす努力、松前町に帰ってきて地元貢献してくれる卒業生が増えることを期待したい。</p> <p>アンケート結果を総合的に見て、頼もしく感じた。</p> <p>学校運営にもダイバーシティの考え方が求められるようになってきていると思う。多様な価値観、個性を受け入れる学校の体制作りが、生徒数減少改善の糸口になるのではと思う。</p> <p>地域に愛される、地域の子どもたちが憧れる学校作りをお願いしたい。入試倍率低迷の要因を明確にし、マニフェストに反映させてほしい。</p> <p>全体的に見て、子どもたちが楽しく学校生活を送れるようにいろいろと考えてくれていると感じる。今以上に魅力のある学校、活気あふれる学校になってほしい。</p> <p>教員の率先垂範のもと、愛校心を培う指導をお願いしたい。</p>	<p>探究の活動を中心に地域とつながり、地域に発信する取組を進める中で郷土への愛着を育てていきたい。</p> <p>生徒の個性や多様性に応じた、個別最適な学びの実現に向けて、授業改善を含めた学校の魅力化に今後も取り組んでいきたい。</p>